

各都県建設業協会 御中

国土交通省 関東地方整備局  
企画部 技術管理課長

新築工事における「現場分別マニュアル」試行について（依頼）

平素より、建設リサイクル推進にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、国土交通省では「建設リサイクル推進計画2020～「質」を重視するリサイクルへ～」※（令和2年9月）を策定し、建設リサイクルを推進しております。

※[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0304/page\\_030401recplan.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0304/page_030401recplan.htm)

関東地方においては、実施すべき建設リサイクル関係施策の1つとして「建設混合廃棄物の現場分別の徹底」についての検討を行ってきたところであり、令和6年5月に「現場分別マニュアル」※を作成いたしました。

※<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000094.html>

現行の「現場分別マニュアル」には6件の事例を掲載していますが、より多くの事例を収集し、現場分別を促進したいと考えております。

つきましては、「現場分別マニュアル」を用いた分別事例を収集すべく、貴協会の会員企業で試行を行っていただきたく、お願い申し上げます。試行結果は、「現場分別マニュアル」に掲載する予定です。ご多忙のところ恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、本試行は一般財団法人先端建設技術センターへ業務委託を行っております。試行への協力の有無、具体的な方法などは、委託先と調整をお願いいたします。

記

1. 試行内容案：

「現場分別マニュアル」を用いて、次の試行手順で行っていただきたい。

STEP 1：産業廃棄物発生予測（産業廃棄物種類・数量の予測）

STEP 2：建設現場環境の把握（廃棄物置場の面積、工期、周辺道路の幅員など）

STEP 3：建設現場周辺の施設情報の把握（立地、受入品目、受入基準、処理単価等）

STEP 4：協議、現場分別品目・分別方法設定

STEP 5：現場分別実施

STEP 6：現場分別事例の整理、「現場分別マニュアル」への改善アンケートへの回答

2. 対象工事：令和7年1月までに終了する新築工事1工事

3. 調査主体：国土交通省 関東地方整備局 企画部 技術調査課 担当：橋本、菅井

4. 連絡先：（一財）先端建設技術センター 技術調査部 担当：松田

電話：03-3942-3993（9:30～17:45）

E-mail：[matsuda-n@actec.or.jp](mailto:matsuda-n@actec.or.jp)

以上

現行「現場分別マニュアル」に掲載の事例（抜粋）

＜勝間田建設株：長野県飯田市＞

出典	令和5年度 「現場分別マニュアル（案）」 試行工事
工事名	飯田高等学校 管理混合教室棟トイレ改修工事
発注者	長野県 教育委員会
元請業者	勝間田建設株式会社
現場分別	<p>＜工事概要＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校トイレの便器取替え及び天井・壁・床の改修工事</li> <li>・鉄筋コンクリート造4階建て 学校</li> <li>・工期：令和5年7月4日～令和5年11月1日</li> </ul> <p>＜現場環境＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・搬入道路幅：5.5メートル 大型車搬入可</li> <li>・分別スペース：20m<sup>2</sup> ⇒産業廃棄物コンテナ 8m<sup>3</sup>を1台設置</li> </ul> <p>＜現場分別＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初、建設混合廃棄物の発生予定量：1,430kg ⇒実績0トン</li> <li>・着手当初に「産業廃棄物発生予測 計画」を作成</li> <li>・建設現場環境（分別スペース、搬入道路幅）を把握</li> <li>・<b>分別ステージ3</b>を基本として産業廃棄物処理施設と分別内容を調整した。</li> </ul> <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い効果：             <ul style="list-style-type: none"> <li>①処理費が削減</li> <li>②コンテナボックス周辺が整理整頓され綺麗になった。</li> </ul> </li> <li>・考慮する点：             <ul style="list-style-type: none"> <li>①コンテナボックスの設置スペースが必要 ⇒特定のコンテナボックスの入れ替えの回数が増え、入れ替え車両の寄り付き等を考慮した場所が必要である。</li> </ul> </li> </ul> <p>⇒コンテナボックスの分別状況をチェックする現場員が必要になり元請の労務負担が増える。</p>

搬出場所・工程	産業廃棄物品目	特別管理	石綿含有	7月 搬出量(m3)	8月 搬出量(m3)	9月 搬出量(m3)
3・4階トイレ 内部	解体除去工事	木くず	-	0.0	3.0	
"	"	金属くず	-	0.0	3.0	
"	"	陶磁器くず	-	0.0	2.0	
"	"	廃プラ・ビニール	-	0.0	0.5	
"	"	ケイカル板	-	有	0.0	2.0
3・4階トイレ 内部	左官工事	モルタル・コンクリート塊	-	0.0	0.1	
3・4階トイレ 内部	内装工事	金属くず	-	0.0	0.0	
"	"	廃プラ・ビニール	-	0.0	0.0	
"	"	ケイカル板	-	0.0	0.0	
3・4階トイレ 内部	仮設工事	木くず	-	0.0	0.0	
"	"	廃プラ・ビニール	-	0.0	0.0	
1・2階トイレ 内部	解体撤去材	木くず	-	0.0	0.0	



産業廃棄物8m<sup>3</sup>コンテナ（フルコバックなどで混載）